交流および共同学習①

小学部：長原小学校とのふれあいウェンズデー
＜前期：５回　長原小の児童５・２・１・６・４年生が来校＞

　ふれあいウエンズデーでは、長原小学校の各学年の児童たちが平野支援学校を来校し、カーリング、サッカー、ボッチャの３つの活動に分かれて活動に取り組みました。長原小の児童たちは、、斜面台を支え、カーリングやボッチャの目標物までの角度をみんなで話し合い「がんばれ！いけいけ!」などの声かけをしていました。サッカーでは最後のゴールの場面になると本校の児童にパスを回し、「〇〇ちゃん、がんばれ！シュート！」など自然に応援する声があり、楽しい雰囲気で取り組むことができました。最後のふれあいウエンズデーだった長原小６年生に感想を尋ねると「サッカーは苦手だけど、今日のは楽しかった。」「もっとしたかった。」「一緒にすることでチームワークができた。」「また、ここに来て一緒に遊びたい。」などのあたたかい言葉をたくさん発表してくれ、本校の児童たちもうなずいたり、笑顔になったりしながら発表を聞いていました。後期は３年生との交流も楽しみたいです！

小学部：長原小学校と長原ふれあい広場への参加　＜6月13日（金）本校で実施＞

　今年度は平野支援学校でふれあい広場を実施しました。まずはグループに分かれ、自己紹介をしました。各グループにぎやかな様子で自分の名前や好きな物の紹介などをすることができました。その後、玉入れ、絵合わせ、大縄くぐり、クイズ、輪投げ、ボウリングのアクティビティを、長原小５・６年生が本校の児童の車いすを押して、一緒にまわりました。輪投げでは長原小の児童が本校児童に輪を渡したり、的を持ち上げて入れやすいようにしたりと積極的に補助をする児童の様子が多く見られました。玉入れでは、どうしたら本校の児童と長原小の児童が玉を入れられるかを相談して、手を添えたり、カゴを近くに動かしたりして積極的に関わる姿が多く見られました。あっという間に交流は終わり「まだ一緒に遊びたかった。」などの声がありました。来年度も楽しく交流をしましょうね♪

中学部：東住吉支援学校との交流　＜6月24日（火）東住吉支援学校で実施＞

　中学部では、年に１回、東住吉支援学校と直接交流をしています。昨年度は、東住吉支援学校が来校し、本校で交流学習をしましたが、今年度は、中学部全員で、通学バスに乗って東住吉支援学校に行き、交流学習を行いました。午前中は、平野支援学校と東住吉支援学校の合同チームでクワトロボッチャ大会をしました。事前学習で作ったマイボールを使って、ジャックボールを狙って投げたり、ランプで転がしたりしました。ボールがジャックボールの近くに転がると、歓声があがり、学校間を超えてチームの一体感が感じられました。４色のボールがコートに広がるにつれて、試合も盛り上がっていきました。お昼には昼食交流を行いました。一緒にお昼ご飯を食べながら、和気あいあいとした時間を過ごしました。昼食後は東住吉支援学校による太鼓とダンスの発表を楽しみました。音楽に合わせて、リズムよく太鼓を叩く演技はとても素敵でした。平野支援学校へ帰る時には、東住吉支援学校の生徒たちが手を振って見送りをしてくれ、通学バスの中はうれしい気持ちでいっぱいになりました。一日楽しく交流することができました。

高等部：長吉高等学校文化交流会　生徒間打合せ交流

＜9月5日（金）本校で実施＞

本校高等部は長吉高等学校の多文化研究会に在籍している色々な国にルーツを持つ生徒と国際交流の機会を設けています。

長吉高等学校の多文化研究会の生徒８名が来校し、１２月の本交流に向けた生徒間打ち合わせを行いました。今年度は、長吉高等学校からダンスの提案を受けました。みんなで踊れるようにと工夫した振り付けを、それぞれ自分のルーツの曲に合わせて披露し、丁寧に教えてくれました。本校の生徒たちは、音楽にあわせて楽しく身体を動かしていました。これから１２月の本校流にむけて、練習していきます！

本校の生徒からは、みんなで楽しめるゲームを提案しました。１年生は○×ゲーム、２年生は玉入れ、３年生はボウリングを実演し、長吉高等学校の生徒８人の協議の末、１年生の○×ゲームを本交流にすることが決定しました。１年生を中心に準備していきます。

双方共に楽しくふれあい、打ち合わせを終えることができました。